

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	星槎道都大学
設置者名	学校法人北海道星槎学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経営	経営（全専攻）	夜・通信	3	10	0	13	13	
	経営（スポーツマネジメントコース）	夜・通信			0	13	13	
社会福祉	社会福祉	夜・通信		0	10	13	13	
美術	デザイン	夜・通信		0	10	13	13	
	建築	夜・通信		0	10	13	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：ホームページ掲載 <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/07/6427a5a7bfe9791536242ba69b80b076.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/07/6427a5a7bfe9791536242ba69b80b076.pdf</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	星槎道都大学
設置者名	学校法人北海道星槎学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/yakuin-meibo_2019.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/yakuin-meibo_2019.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立高等学校 相談役	H31.04.01 ～ R05.03.31	企画・調整
非常勤	株式会社 代表取締役	H31.04.01 ～ R05.03.31	企画・調整
常勤	公益財団法人 総務部長	H30.04.01 ～ R04.03.31	法人業務の総理
非常勤	有限会社 代表取締役	H31.04.01 ～ R05.03.31	企画・調整、 入試広報
非常勤	一般社団法人 会長	H31.04.01 ～ R05.03.31	企画・調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	星槎道都大学
設置者名	学校法人北海道星槎学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学教授会規程第20条の規定に基づき、本学学務委員会の小委員会としてシラバス検討委員会を設置し、教育の質の保証のため各授業科目のシラバスの記載内容がカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーに照らして整合性を保っているか等を検討し、作成している。</p> <p>本学の授業計画(シラバス)作成過程は、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した本学の所定様式に各科目の担当教員がカリキュラム・ポリシーやディプロマ・ポリシーに則り、作成する。その作成物をシラバス第三者チェック委員会によって検証し、必要に応じて修正を行う中で完成に至っている。その中で本学の授業計画(シラバス)は、以下のとおり具体的かつ明確に記載しており、学生及び教職員にはCDとして例年4月に配布・公表をしている。また、学外においては利便性を考慮して、広く周知することが可能であるインターネットを駆使して、本学のホームページにて同時期に公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の方法 (講義、演習、実験、実習の別)</li> <li>・ 授業担当者</li> <li>・ 単位認定責任者 (実務経験の有無)</li> <li>・ 授業の目的 (ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとの関連、科目ナンバリング)</li> <li>・ 授業の内容 (授業科目の概要、各授業回における学習内容)</li> <li>・ 年間の授業の計画 (授業の回数やスケジュール、準備学習、事後学習)</li> <li>・ 到達目標</li> <li>・ 成績評価の方法基準 (定期試験・レポート等の項目、パーセンテージによる評価配分、採点範囲の評価基準、ランクによる評価)</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>公表方法：ホームページに掲載し、学生にはCDを配布</p> <p><a href="https://www.seisadohto.ac.jp/introduction/disclosure/">https://www.seisadohto.ac.jp/introduction/disclosure/</a></p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位については学則第22条に単位数の計算基準が定められている。また、成績等の表示及び成績評価基準については、学則第25条にて学生に周知している。</p> <p>単位認定は、試験や出席状況等の総合評価で認定となるが、その方法・基準等については、学生にあらかじめ示している授業計画（シラバス）上の客観的な方法・基準（定期試験・レポート等の項目、パーセンテージによる評価配分、採点範囲の評価基準、ランクによる評価）に基づき、各授業科目の学修成果の評価を行い、単位の授与又は履修の認定を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、成績評価において、GPAの客観的な指標を設定している。GPAは星槎道都大学成績評価基準及び履修単位数の上限設定等に関する規程を定め、成績評価基準（100～0点）、評価（S・A・B・C・F等）と連動してGPを明示して以下のとおり算出が行えるようにしている。</p> <p>&lt;GPAの算出方法&gt;  <math display="block">\frac{Sの修得単位数 \times 4.0 + Aの修得単位数 \times 3.0 + Bの修得単位数 \times 2.0 + Cの修得単位数 \times 1.0}{総履修登録単位数（「F」の単位数を含む。）}</math></p> <p>GPAは学期ごと及び在学の通算で算出され、卒業判定・CAP制度・修学指導等に活用して成績評価の厳格化に取り組んでいる。GPAに係る公表は、学生及び教職員、そして学外に対しても広く周知することが可能であるインターネットを駆使して、本学のホームページにて公表している。</p> <p>なお、GPAの分布に関しては、修学指導の基礎資料として学生ごとに算出した資料を例年学務委員会へ提出し、各学科で学生の履修科目平均成績を相対的に比較・把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>公表方法：ホームページ及び学生便覧に掲載  <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/05/seiseki_gpa.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/05/seiseki_gpa.pdf</a></p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、以下のとおり各学部・学科の特色に応じた「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」に基づき、卒業の認定に関する方針を定め、学生及び教職員、そして学外に対しても広く周知することが可能であるインターネットを駆使して、本学のホームページにて公表している。

学部の教育課程が定める授業科目を履修し、基準となる単位数を修得した学生に「学士」の学位を授与する。これによって、以下の能力、知識および態度等が身につけていることを保証する。

1. すべての人々が共生する社会の実現に資する意志や態度
2. すべての人々が共生する社会の基盤となる専門分野における知識、技能およびこれらを実践的に活用する能力
3. すべての人々が共生する社会で必要となる教養
4. 課題探求能力をもって自ら問題を発見し、論理的に思考し、解決に導く態度
5. 身のまわりや地域にある様々な問題に関心を持ち、自己の意見を的確に表現するとともに、自らの責任を自覚し、問題解決のためにすべての人々と協働することができる態度

【経営学部 経営学科】

経営学部経営学科は、建学の精神および星槎の三つの約束に基づき、学部をマネジメント分野とスポーツ分野に分け、それぞれの教育課程が定める科目を履修し、以下の知識・能力・態度を身につけ、定められた授業科目を含む124単位以上、通算GPAが1.2以上を満たした者に「学士」の学位を授与する。

1. 知識・理解
  - (1) 社会の要請に応えうる人材として、経営に関する知識や技能を獲得し、社会の現実に即応できるよう、基礎から応用までを俯瞰的に理解している。
  - (2) 共生社会の実現に寄与できる人材となるため、さまざまな情報の中から必要と思われる知識を幅広く理解・体得している。
2. 汎用的技能
  - (1) コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・レポート作成能力を教学の3本柱とし、論理的かつ効率的に分析・表現できる力を身につけている。
  - (2) 企業や組織および社会が抱える課題に関して、正しい情報を探しだし、経営学の目線から分析し解決策を構築する能力を身につけている。
3. 態度・志向性
  - (1) 自らを律し、所属する組織において、目的実現を目指すための一員として協働することができる。
  - (2) 報告・連絡・相談を怠らず、効果的に連携し共生社会の実現に向け積極的に参画することができる。
4. 総合的な学習経験と創造的思考力  
現実社会における生ききる力を獲得するために、1つの事象を多面的に捉える訓練としてのアクティブラーニング等に積極的に取り組み、問題解決能力を身につけている。

#### 【社会福祉学部 社会福祉学科】

社会福祉学部社会福祉学科は、建学の精神と星槎の三つの約束に基づき、学部の教育課程が定める授業科目を履修し、以下の知識・能力・態度を身につけ、定められた授業科目を含む124単位以上、通算GPAが1.2以上を満たした者に「学士」の学位を授与する。

##### 1. 知識・理解

- (1) ソーシャルワークの基礎知識や基本技術を獲得し、それらに関連づけて体系的に理解することができる。
- (2) 共生社会の創造のため、人間と文化、社会と歴史、自然と環境、外国語、健康などに関する幅広い教養を身につけている。

##### 2. 汎用的技能

- (1) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、知識や情報を複眼的・論理的に分析し表現できる能力を身につけている。
- (2) 情報リテラシーに関する能力を身につけている。
- (3) 現代社会や地域が抱える課題に気づき、それらの解決へ果敢に立ち向かう能力を身につけている。

##### 3. 態度・志向性

- (1) 自らを律し、他者と協調・協働して行動ができる。
- (2) 人の尊厳を重んじ、豊かな人間性を尊重できる態度を身につけている。
- (3) 生涯学びつづけるための意欲と学習する習慣を身につけている。

##### 4. 総合的な学習経験と創造的思考力

人と環境（社会）に関する視点、これまでに獲得した知識・能力・態度等を総合的に活用し、個人や社会にとって必要な課題解決のために創意工夫する能力を身につけている。

#### 【美術学部】

美術学部デザイン学科及び建築学科は、建学の精神および星槎の三つの約束に基づき、それぞれの教育課程が定める科目を履修し、以下の知識・能力・態度を身につけ、定められた授業科目を含む124単位以上、通算GPAが1.2以上を満たした者に「学士」の学位を授与する。

#### 【美術学部 デザイン学科】

##### 1. 知識・理解

- (1) 美術、デザインの専門家に必要な基礎的素養を身につけている。
- (2) 共生社会の創造のため、人間と文化、社会と歴史、自然と環境、外国語などに関する幅広い教養を身につけている。

##### 2. 汎用的技能

- (1) 自らが創作したものを他者に伝える表現技術と理論を身につけている。
- (2) 芸術文化の推進に率先垂範できる能力を身につけている。

##### 3. 態度・志向性

- (1) 芸術文化をとおり社会における使命・役割を自覚している。
- (2) 生涯かけて美と真実を探究する意欲を身につけている。
- (3) 美的感性を發揮し地域や社会でよりよい人間関係を築くことを身につけている。

##### 4. 総合的な学習経験と創造的思考力

学修や実習、展覧会活動、地域活動等において能動的、実践的学修で培われた知識、技能、態度等を総合的に活用し、コラボレーション力や問題解決のために創意工夫する能力を身につけている。

【美術学部 建築学科】

1. 知識・理解

- (1) 建築の専門性を支える教養を身につけている。
- (2) 共生社会の実現に寄与できる人材として、さまざまな情報の中から必要と思われる知識を幅広く収取選択できる能力を身につけている。

2. 汎用的技能

- (1) 他者との円滑なコミュニケーションをはかり、良好な人間関係を築く能力を身につけている。
- (2) 新たな問題に直面した時に、それらを分析し、そして解決に導く広範な知識・情報を積極的かつ柔軟に対応していくことのできるジェネリックスキルを身につけている。

3. 態度・志向性

- (1) 社会における自分の使命・役割を自覚している。
- (2) 「建築デザイン」と「ものづくり」とおして世界や社会の変化に対応して、人々が共生できる社会を創造し続けるために、多くの視点をもって絶えず学び続ける意欲をもつことを身につけている。

4. 総合的な学習経験と創造的思考力

- (1) 「建築プロフェッショナル」としての技術者倫理に基づいた社会的使命を理解し、思考と行動力をもって社会に貢献することを身につけている。
- (2) 建築専門分野のみならず地域に関する様々な問題に関心を持ち、自らの役割と責任を自覚するとともに、さまざまな人と協働して問題解決に真摯に係わる態度を身につけている。

なお、卒業の認定については、卒業要件を満たしているかの判定を卒業判定学科会議、学務委員会及び教授会で行っている。単位認定・卒業についての基準は明確にされており、これらの基準は、あらかじめ明示されている。卒業認定も学務委員会及び教授会にて厳正に審議され、学長が決定している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

公表方法：ホームページ及び学生便覧に掲載  
<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/05/97bf45abf83bc983cd6dba6458c21a67-1.pdf>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	星槎道都大学
設置者名	学校法人北海道星槎学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/taisyaku-taisyou.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/taisyaku-taisyou.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/sikin-syuushi.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/sikin-syuushi.pdf</a>
財産目録	ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/zaimu-mokuroku.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/zaimu-mokuroku.pdf</a>
事業報告書	ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/houjin-gaiyou.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/houjin-gaiyou.pdf</a>
監事による監査報告(書)	ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/kanji-kansa.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/kanji-kansa.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31(2019)年度 事業計画 対象年度:2019年度)
公表方法:ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/jigyou-keikaku-2019.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/jigyou-keikaku-2019.pdf</a>
中長期計画(名称: 対象年度: )
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/01/jikotenken2015.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/01/jikotenken2015.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ掲載/ <a href="http://www.jiheer.or.jp/kikanbetsu/2016/48dohto_university.pdf">http://www.jiheer.or.jp/kikanbetsu/2016/48dohto_university.pdf</a>
---



### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 全学部全学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ及び学生便覧に掲載） <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/05/kyouiku_kenkyuu_mokuteki.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/05/kyouiku_kenkyuu_mokuteki.pdf</a>
(概要) <学部・学科の教育研究上の目的> <b>【社会福祉学部】</b> 建学の精神のもとに、多岐にわたる福祉施設や行政機関等で活躍する人材を養成するとともに、共生社会の実現をめざす。グローバルな視点から社会サービスの現状とその背景にある政治、経済、文化等について研究し、その成果を学生へ還元する。 (社会福祉学科) 共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 <b>【美術学部】</b> 建学の精神を念頭に、両学科の所属学生に対し、幅広い知識や教養を修得させると共に、豊かな感性や感覚と高い技能とを身につけさせ、美しく心豊かな社会創りに、持続的に積極的に関わることのできる人材養成を行うこと。また、研究に関しては、よりの確な教育方法の研究と共に、幅広い視野で、とりわけ地域の諸問題について検証し、それらの改善と発展に寄与すること等を目的とする。 (デザイン学科) 知識や教養の修得と共に、個々の学生の感性や感覚の練磨につとめ、感受性豊かで想像力や表現力や創造力のある人間形成を行うこと。教職を目指す学生には、美術ならではの教育方法の特質と役割とを認識させ、教育現場での授業等において、それらを反映させ実践できる人材の育成を行うこと。研究に関しては、常に一人ひとりの学生に寄り添い、それぞれの特質を把握し、効果的な教育方法を展開させられるようにすること、また、美術についての専門的な知識や技能等を、十分に社会に還元させることを目標とする。 (建築学科) 人びとの生活から社会活動の基盤となる建築・都市環境に関わる専門知識を有し、これらを構築する豊かな創造力を持ち、社会に貢献する建築技術者を育成する。また、工業（建築）分野の教職において活躍できる人材を育成する。 <b>【経営学部】</b> 情報化、国際化、さらにグローバル化が進展する 21 世紀の産業社会で活躍する人材を育成する。また、グローバルな視点だけでなく地域社会とのつながりについても重視し、経営およびそれに関連した分野等について研究し、その成果を社会と学生の学びへ還元する。 (経営学科) 企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ及び学生便覧掲載）

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/05/eb1d9b365f81d5f745c3dc103a90feac.pdf>

（概要）

【卒業要件として修得すべき単位数】

（１）社会福祉学部社会福祉学科

● 1～3年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件	備考	
共通教育科目	人間と文化		2	2	5 30	2単位以上（選択必修）
	社会と歴史		2	2		2単位以上（選択必修）
	自然と環境		2	2		2単位以上（選択必修）
	情報リテラシー	2		2		必修2単位
	外国語	4		4		4単位以上（必修4単位）
	健康とスポーツ	3		3		必修3単位
	基礎演習	5		5		5単位以上（必修5単位）
	キャリア支援	2	2	4		4単位以上（必修2単位）
地域共生		1	1	1単位以上（選択必修）		
小計		16	9	30	30単位以上	
専門科目	基幹科目	22		64	30単位（必修）	
	展開科目		34		34単位以上（選択必修）	
	専門演習	8				
小計		30	34	64	64単位以上	
合計（卒業要件）		46	43	124	124単位以上 共通教育科目：30単位以上 専門科目：64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択	

● 4年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件	備考		
共通教育科目	一般教育科目	人間と文化		2	5 30	2単位以上（選択必修）	
		社会と歴史		2		2単位以上（選択必修）	
		自然と環境		2		2単位以上（選択必修）	
	情報リテラシー科目	2		2		必修2単位	
	外国語科目	2	2	4		4単位以上（必修2単位）	
	保健体育科目	3		3		必修3単位	
	基礎科目	D O H T O 演習	5			5	5単位以上（必修5単位）
		キャリア支援科目	2	3		5	5単位以上（必修2単位）
小計		14	11	30	30単位以上		
専門科目	基幹科目	22		64	30単位（必修）		
	展開科目		34		34単位以上（選択必修）		
	専門演習	8					
小計		30	34	64	64単位以上		
合計（卒業要件）		44	45	124	124単位以上 共通教育科目：30単位以上 専門科目：64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択		

(2) 美術学部デザイン学科

● 1～3年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件		備考
共通教育科目	人間と文化		2	2	5	2単位以上(選択必修)
	社会と歴史		2	2		2単位以上(選択必修)
	自然と環境		2	2		2単位以上(選択必修)
	情報リテラシー	2		2		必修2単位
	外国語	4		4		4単位以上(必修4単位)
	健康とスポーツ	3		3		必修3単位
	基礎演習	5		5		5単位以上(必修5単位)
	キャリア支援	2	2	4		4単位以上(必修2単位)
地域共生		1	1	1単位以上(選択必修)		
小計		16	9	30		30単位以上
専門科目	基幹科目	22	32	64		32単位(必修)
	展開科目					32単位以上(選択必修)
	専門演習	10				
小計		32	32	64		64単位以上
合計(卒業要件)		48	41	124		124単位以上 共通教育科目:30単位以上 専門科目:64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択

● 4年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件		備考	
共通教育科目	一般教育科目	人間と文化		2	2	5	2単位以上(選択必修)
		社会と歴史		2	2		2単位以上(選択必修)
		自然と環境		2	2		2単位以上(選択必修)
	情報リテラシー科目	2		2	必修2単位		
	外国語科目	2	2	4	4単位以上(必修2単位)		
	保健体育科目	3		3	必修3単位		
	基礎科目	D O H T O 演習	5		5		5単位以上(必修5単位)
		キャリア支援科目	2	3	5		5単位以上(必修2単位)
小計		14	11	30		30単位以上	
専門科目	基幹科目	18	36	64		28単位(必修)	
	展開科目					36単位以上(選択必修)	
	専門演習	10					
小計		28	36	64		64単位以上	
合計(卒業要件)		42	47	124		124単位以上 共通教育科目:30単位以上 専門科目:64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択	

(3) 美術学部建築学科

● 1～3年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件		備考	
共通教育科目	人間と文化		2	2	5	30	2単位以上(選択必修)
	社会と歴史		2	2			2単位以上(選択必修)
	自然と環境		2	2			2単位以上(選択必修)
	情報リテラシー	2		2			必修2単位
	外国語	4		4			4単位以上(必修4単位)
	健康とスポーツ	3		3			必修3単位
	基礎演習	5		5			5単位以上(必修5単位)
	キャリア支援	2	2	4			4単位以上(必修2単位)
地域共生		1	1	1単位以上(選択必修)			
小計		16	9	30		30単位以上	
専門科目	基幹科目	31		23	64	41単位(必修) 23単位以上(選択必修)	
	展開科目						
	専門演習	10					
小計		41	23	64		64単位以上	
合計(卒業要件)		57	32	124		124単位以上 共通教育科目: 30単位以上 専門科目: 64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択	

● 4年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件		備考		
共通教育科目	一般教育科目	人間と文化		2	2	5	30	2単位以上(選択必修)
		社会と歴史		2	2			2単位以上(選択必修)
		自然と環境		2	2			2単位以上(選択必修)
	情報リテラシー科目	2		2	必修2単位			
	外国語科目	2	2	4	4単位以上(必修2単位)			
	保健体育科目	3		3	必修3単位			
	基礎科目	D O H T O 演習	5		5			5単位以上(必修5単位)
		キャリア支援科目	2	3	5			5単位以上(必修2単位)
小計		14	11	30		30単位以上		
専門科目	基幹科目	31		23	64	45単位(必修) 23単位以上(選択必修)		
	展開科目							
	専門演習	10						
小計		41	23	64		64単位以上		
合計(卒業要件)		55	34	124		124単位以上 共通教育科目: 30単位以上 専門科目: 64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択		

(4) 経営学部経営学科 (スポーツマネジメントコースを除く)

● 1～3年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件	備考
共通教育科目	人間と文化		2	2	3 30 2単位以上 (選択必修) 4単位以上 (選択必修) 2単位以上 (選択必修) 必修2単位 4単位以上 (必修4単位) 必修3単位 5単位以上 (必修5単位) 4単位以上 (必修2単位) 1単位以上 (選択必修)
	社会と歴史		4	4	
	自然と環境		2	2	
	情報リテラシー	2		2	
	外国語	4		4	
	健康とスポーツ	3		3	
	基礎演習	5		5	
	キャリア支援	2	2	4	
地域共生		1	1		
小計		16	11	30	30単位以上
専門科目	基幹科目	8		8	12単位 (必修) 52単位以上 (選択必修)
	展開科目		48	48	
	専門演習	4	4	8	
小計		12	52	64	64単位以上
合計 (卒業要件)		28	63	124	124単位以上 共通教育科目：30単位以上 専門科目：64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択

● 4年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件	備考	
共通教育科目	一般教育科目	人間と文化		2	3 30 2単位以上 (選択必修) 4単位以上 (選択必修) 2単位以上 (選択必修) 必修2単位 4単位以上 (必修2単位) 必修3単位 5単位以上 (必修5単位) 5単位以上 (必修2単位)	
		社会と歴史		4		
		自然と環境		2		
	情報リテラシー科目	2		2		
	外国語科目	2	2	4		
	保健体育科目	3		3		
	基礎科目	D O H T O 演習	5			5
		キャリア支援科目	2	3		5
小計		14	13	30	30単位以上	
専門科目	基幹科目	8		64	16単位 (必修) 48単位以上 (選択必修)	
	展開科目		48			
	専門演習	8				
小計		16	48	64	64単位以上	
合計 (卒業要件)		30	61	124	124単位以上 共通教育科目：30単位以上 専門科目：64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択	

(5) 経営学部経営学科 (スポーツマネジメントコース)

● 1～3年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件		備考
共通教育科目	人間と文化		2	2	3	2単位以上 (選択必修)
	社会と歴史		4	4		4単位以上 (選択必修)
	自然と環境		2	2		2単位以上 (選択必修)
	情報リテラシー	2		2		必修2単位
	外国語	4		4		4単位以上 (必修4単位)
	健康とスポーツ	3		3		必修3単位
	基礎演習	5		5		5単位以上 (必修5単位)
	キャリア支援	2	2	4		4単位以上 (必修2単位)
地域共生		1	1	1単位以上 (選択必修)		
小計		16	11	30		30単位以上
専門科目	基幹科目	18		18		22単位 (必修)
	展開科目		38	38		42単位以上 (選択必修)
	専門演習	4	4	8		
小計		22	42	64		64単位以上
合計 (卒業要件)		38	53	124		124単位以上 共通教育科目：30単位以上 専門科目：64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択

● 4年生

科目群		必修	選択必修	卒業要件		備考	
共通教育科目	一般教育科目	人間と文化		2	2	2単位以上 (選択必修)	
		社会と歴史		4	4	4単位以上 (選択必修)	
		自然と環境		2	2	2単位以上 (選択必修)	
	情報リテラシー科目	2		2	3	必修2単位	
	外国語科目	2	2	4		4単位以上 (必修2単位)	
	保健体育科目	3		3		必修3単位	
	基礎科目	D O H T O 演習	5			5	5単位以上 (必修5単位)
		キャリア支援科目	2	3		5	5単位以上 (必修2単位)
小計		14	13	30			30単位以上
専門科目	基幹科目	18		18			26単位 (必修)
	展開科目		38	38			38単位以上 (選択必修)
	専門演習	8		8			
小計		26	38	64		64単位以上	
合計 (卒業要件)		40	51	124		124単位以上 共通教育科目：30単位以上 専門科目：64単位以上 30単位は共通教育科目又は専門科目より自由選択	

【他学部他学科の専門科目履修における取得単位の取り扱い】

● 全学年 (全学部学科共通)

他学部・他学科の専門科目の単位を修得した場合、30単位を限度として卒業要件の専門科目単位数に算入することができる。

【卒業要件等としてのGPA】

卒業するには、本学で定められた期間の修学、定められた授業科目を含む124単位以上の修得の他、入学時からの通算GPAが1.2以上であることを要する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ及び学生便覧に掲載）  
[https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/04/dailkou-dai5gou-marul\\_curriculum\\_policy.pdf](https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/04/dailkou-dai5gou-marul_curriculum_policy.pdf)

（概要）

＜教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）＞

**【星槎道都大学】**

教育課程を「共通教育科目（人間と文化、社会と歴史、自然と環境、外国語、情報リテラシー、健康とスポーツ、基礎演習、キャリア支援、地域共生）」、「専門科目（基幹科目、展開科目、専門演習、自由科目）」で構成し、各科目区分にすべての人々が共生する社会の実現に資する人材養成、各資格・免許養成に必要な科目を配当することでカリキュラムの骨格とする。

**【社会福祉学部 社会福祉学科】**

1. 専門科目（基幹科目）にソーシャルワークの基礎となる科目を設定する。
2. 地域を基盤とするソーシャルワーカーを養成するため、社会福祉士国家試験受験資格課程及び精神保健福祉士国家試験受験資格課程を設置する。
3. 心理学の専門家として必要最小限の標準的基礎学力と技能を修得していることを認定するため、認定心理士資格課程を設置する。
4. 保育相談支援に強い保育士を養成するため、保育士養成課程を設置する。
5. 共生社会に向けて、インクルーシブ教育に適応できる専門的な教師を養成するため、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者に関する教育の領域）、中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地理歴史・公民）の教職課程を設置する。

**【経営学部 経営学科】**

（マネジメント分野）

1. 専門科目に経営に関する基礎となる科目を設定する。
2. 専門科目にビジネスやコミュニティにおいて、アクティブラーニングを通して実践力となりうる人材を養成する科目を設定する。
3. 共生社会に向けて、インクルーシブ教育に適応できる専門的な教師を養成するため、中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（商業）の教職課程を設置する。

（スポーツ分野）

1. 専門科目にスポーツ経営に関する基礎となる科目を設置する。
2. 専門教育に地域に根ざしたスポーツ指導者、障がい者スポーツ指導者、スポーツソーシャルワーカーの養成課程を設置する。
3. 共生社会に向けて、インクルーシブ教育に適応できる専門的な教師を養成するため、中学校教諭一種免許状（保健体育）、高等学校教諭一種免許状（保健体育）の教職課程を設置する。

**【美術学部 デザイン学科】**

1. デッサン、構成、配色などの基本を習得させる科目を設定する。
2. 色彩、CG クリエイターなどの検定に対応する科目を設定する。
3. 画家、工芸作家、彫刻家などを育成する科目を設定する。
4. グラフィックデザイナー、デジタル系デザイナー、インテリアデザイナーなどを育成する科目を設定する。
5. イラストレーター、漫画家、アニメーターなどを育成する科目を設定する。
6. 共生社会に向けて、インクルーシブ教育に適応できる専門的な教師を養成するため、中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術・工芸）の教職課程を設置する。

**【美術学部 建築学科】**

1. 建築のプロフェッショナルとして学修成果を高めるために、学びの系統性や順次性に配慮し、内容を深化・進化させる科目を設定する。
2. 建築デザインをとおして専門分野のみならず幅広い学びによって、多角的視点をもって課題制作に取り組む科目を設定する。
3. 学生が、能動的・主体的に課題と向き合い、教員や仲間と議論・考察し結果をフィードバックする科目を設定する。
4. ものづくりを中核に、さまざまな建築の表現について学ぶ科目を設定する。
5. 人と建築をとりまく環境について、多面的に学ぶ科目を設定する。
6. 建築計画と設計製図について基礎から学び、建築士レベルに到達させる科目を設定する。
7. 建築材料とその性状について基礎から学び、建築施工管理技士を目指す科目を設定する。
8. 共生社会に向けて、インクルーシブ教育に適應できる専門的な教師を養成するため、高等学校教諭一種免許状（工業）の教職課程を設置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ及び学生便覧、入学試験実施要項に掲載）

[https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/04/dailkou-dai4gou-marul\\_admission\\_policy.pdf](https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/04/dailkou-dai4gou-marul_admission_policy.pdf)

（概要）

<入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）>

**【星槎道都大学】**

星槎道都大学は、建学の精神や星槎の三つの約束に共感し、各学部・学科の専門的知識や技術の修得はもとより、その専門知を生かして狭い専門領域を超えて統合し、共生社会の創造に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

**【社会福祉学部 社会福祉学科】**

1. 支援を要する人々が抱える諸問題や、コミュニティの在り方に興味・関心を持っている人
2. 支援を要する人々に関わり、コミュニケーションを通して問題解決に取り組む意欲を持っている人
3. 社会貢献活動などを通して広く評価を得ている人
4. 学術・文化・スポーツなどの分野において優秀な成績を有し、その能力を福祉・教育・行政などの分野で活かそうと思っている人

**【経営学部 経営学科】**

1. マネジメント分野において、最適なバランスを考えながら問題解決に取り組む意欲を持っている人
2. スポーツ分野において、現状分析をベースに本学部での学習成果を実践に生かす前向きな姿勢を持っている人
3. あらゆる事象に関心を持ち、情報を集め行動に生かす、柔軟な姿勢を持っている人
4. 学術・文化・スポーツなどの分野において優秀な成績を有し、その能力を経営・教育・スポーツなどの分野で活かすことを考えている人



【美術学部】

1. 修学に必要な基礎学力と基本的実技能力を身につけている人
2. 社会に積極的に関わり貢献したいという意欲を有している人
3. 自ら創造したい、考えたことを伝えたいという意志を有している人

【美術学部 デザイン学科】

1. 創ることが好きで、意欲的に表現活動に関わることができる人
2. より高い能力の獲得をめざし真摯に弛まなく努力を継続できる人
3. 芸術文化表現を通して、地域や社会で積極的に活動を志す人

【美術学部 建築学科】

1. 建築のプロフェッショナルとして創作や表現について表面的な理解で満足せずに深く追及する旺盛な探求心がある人
2. 建築とデザイン、そしてそれをとりまく環境に常に真摯な姿勢で主体的にそして好奇心をもって取り組む人
3. ものづくりをとおして社会に貢献しようとする高い志と使命感を有する人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ掲載／

[https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/soshikizu\\_2019.pdf](https://www.seisadohto.ac.jp/kouhou/soumu/soshikizu_2019.pdf)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
経営学部	—	10人	8人	1人	3人	0人	22人
社会福祉学部	—	14人	6人	4人	0人	0人	24人
美術学部	—	10人	6人	3人	0人	0人	19人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		52人					52人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページ掲載 (経営学科) <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/management/teacher/">https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/management/teacher/</a> (社会福祉学科) <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/social-welfare/teacher/">https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/social-welfare/teacher/</a> (デザイン学科) <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/design/teacher/">https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/design/teacher/</a> (建築学科) <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/architecture/teacher/">https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/architecture/teacher/</a>					

c. F D (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)

本学は、専門委員会としてF D推進委員会を設置し、F D活動の推進を図っている。平成30(2018)年は、教員全員参加を目標にF D活動を更に活発化させ具体的成果として、次のとおり全学F D研修会(学生授業改善アンケートにおける優秀教育賞受賞者講演を含む。)及び学科別F D研修会を実施した。また、学生による授業評価の取組(前・後期各1回)を実施し、授業等の改善に努めた。

①全学F D研修会

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 第1回「シラバス作成方法とその内容の検討」 | 参加者28名 |
| 第2回「アセスメントポリシーについて」   | 参加者35名 |
| 第3回「アクティブラーニングの基礎」    | 参加者30名 |
| 第4回「授業は楽しい?なぜなにどのように」 | 参加者30名 |
| 第5回「授業は厳しく?なぜどのように」   | 参加者33名 |
| 第6回「アクティブラーニングの実践」    | 参加者44名 |

②学科別F D研修会

・経営学科

- |                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| 第1回「退学者の原因分析と防止に向けた適切な指導法について①」 | 参加者16名 |
| 第2回「退学者の原因分析と防止に向けた適切な指導法について②」 | 参加者12名 |
| 第3回「退学者の原因分析と防止に向けた適切な指導法について③」 | 参加者15名 |
| 第4回「学科の教育課題に関する意見交換会①」          | 参加者18名 |
| 第5回「学科の教育課題に関する意見交換会②」          | 参加者14名 |
| 第6回「学科の教育課題に関する意見交換会③」          | 参加者7名  |
| 第7回「学科の教育課題に関する意見交換会④」          | 参加者8名  |

・社会福祉学科

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| 第1回「配慮が必要な学生の情報交換」     | 参加者17名 |
| 第2回「アクティブラーニングの基礎」     | 参加者12名 |
| 第3回「配慮が必要な学生の情報交換」     | 参加者6名  |
| 第4回「配慮が必要な学生の対応及び情報交換」 | 参加者18名 |

・デザイン学科

- |                                |        |
|--------------------------------|--------|
| 第1回「スタディスキルズの育成(指導方法のスキルアップ)①」 | 参加者10名 |
| 第2回「スタディスキルズの育成(指導方法のスキルアップ)②」 | 参加者10名 |
| 第3回「スタディスキルズの育成(指導方法のスキルアップ)③」 | 参加者9名  |
| 第4回「スタディスキルズの育成(指導方法のスキルアップ)④」 | 参加者10名 |

・建築学科

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 第1回「資格取得教育に関するF D研修」         | 参加者8名 |
| 第2回「建築士専攻第1回卒業試験結果に関するF D研修」 | 参加者8名 |
| 第3回「建築士専攻第2回卒業試験結果に関するF D研修」 | 参加者8名 |

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会福祉学部	60人	49人	81%	240人	163人	67%	人	人
美術学部	80人	69人	86%	320人	259人	80%	人	人
経営学科	120人	106人	88%	480人	421人	87%	人	人
合計	260人	224人	86%	1,040人	843人	81%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営学部	86人 (100%)	0人 (%)	79人 (91.9%)	人 (%)
社会福祉学部	40人 (100%)	0人 (%)	33人 (82.5%)	人 (%)
美術学部	42人 (100%)	0人 (%)	35人 (83.3%)	人 (%)
合計	168人 (100%)	0人 (%)	147人 (87.5%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<p>&lt;経営学部 経営学科&gt;            北海道警察 警視庁 法務省矯正局(刑務官) 航空自衛隊 陸上自衛隊 南渡島消防署            上十三地区森林組合 JA道央 JA平取 JA計根別 JAオホーツクはまなす JA八戸            北海道商工会連合会(浦河町商工会) 伊達信用金庫 水戸信用金庫 ㈱明和地所 日本ペイント㈱            北海道日本ハムファイターズ ㈱ツルハホールディングス ユニ・チャームプロダクツ㈱            ANA 新千歳空港 ㈱日本ハウスホールディングス エア・ウォーター物流㈱</p>				
<p>&lt;社会福祉学部 社会福祉学科&gt;            北海道教育委員会(特別支援) 新篠津高等養護学校(期限付) 安平町役場 法務省矯正局(刑務官)            公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 (医)延山会西成病院 (福)札幌報恩会            介護老人保健施設エスポアール北広島 (福)緑星の里 (福)北海長正会 (福)北ひろしま福祉会            (福)札幌緑花会 (福)侘愛会 (福)北光社児童養護施設ふくじゅ園 (福)水の会島松いちい保育園            (福)日吉会救護施設房総平和園 ANA 新千歳空港㈱</p>				
<p>&lt;美術学部 デザイン学科&gt;            北海道教育委員会(特別支援) (2) 三笠市役所 ㈱メガネトップ ㈱オービィ            ㈱山本ビル ㈱エース 共同エンジニアリング㈱ ㈱メンバーズキャリア</p>				
<p>&lt;美術学部 建築学科&gt;            岩田地崎建設㈱ 萩原建設工業㈱ ㈱玉川組 山崎建設工業㈱ 内池建設㈱ 岩倉建設㈱ ㈱恒栄工業            丸彦渡辺建設㈱ ㈱井上技研 ㈱中山組 国豊積算㈱ イオングループ ㈱トーホーエンジニアリング</p>				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内			
		卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
社会福祉学部	49人 (100.0%)	40人 (81.6%)	1人 (2.0%)	8人 (16.3%)	0人 (0.0%)
経営学部	98人 (100.0%)	82人 (83.7%)	4人 (4.1%)	12人 (12.2%)	0人 (0.0%)
美術学部	44人 (100.0%)	42人 (95.5%)	0人 (0.0%)	2人 (4.5%)	0人 (0.0%)
合計	191人 (100.0%)	164人 (85.9%)	5人 (2.6%)	22人 (11.5%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスを作成し学生等に配布するとともに、本学ホームページに掲載している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/faculty/policy/>

【授業科目（学則別表1）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/joho-koukai/5-2.pdf>

【授業の計画（共通教育科目シラバス:2019）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/04/dc896f6e2b54798fbf34e87ca6b99574.pdf>

【授業の計画（社会福祉学科シラバス:2019）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/04/6da8e83422ef9d7c5df7b1bb0bf499de.pdf>

【授業の計画（経営学科シラバス:2019）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/04/e945536b78b115315e6dbdd88f9edc0d.pdf>

【授業の計画（デザイン学科シラバス:2019）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/04/0db61b504014c5d1d92ae89878d3dd78.pdf>

【授業の計画（建築学科シラバス:2019）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/04/42e202d434d594c01864a2cf79004fca.pdf>

【学年暦（年間スケジュール）】

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/04/d100c0aa784374473a2fa0272967ebf8-1.pdf>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

本学においては、それぞれの学科が設定した力を身につけるとともに、所定の単位を修め、本学学則に定める卒業要件を満たした者に、学士の学位を授与している。

授与する学位およびディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）は以下の通りである。

社会福祉学部社会福祉学科	学士（社会福祉学）
美術学部デザイン学科	学士（デザイン学）
美術学部建築学科	学士（建築学）
経営学部経営学科	学士（経営学）

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

学部の教育課程が定める授業科目を履修し、基準となる単位数を修得した学生に「学士」の学位を授与する。これによって、以下の能力、知識および態度等が身についていることを保証する。

1. すべての人々が共生する社会の実現に資する意志や態度
2. すべての人々が共生する社会の基盤となる専門分野における知識、技能およびこれらを実践的に活用する能力
3. すべての人々が共生する社会で必要となる教養
4. 課題探求能力をもって自ら問題を発見し、論理的に思考し、解決に導く態度
5. 身のまわりや地域にある様々な問題に関心を持ち、自己の意見を的確に表現するとともに、自らの責任を自覚し、問題解決のためにすべての人々と協働することができる態度

【経営学部 経営学科】

経営学部経営学科は、建学の精神および星槎の三つの約束に基づき、学部をマネジメント分野とスポーツ分野に分け、定められた授業科目を含む124単位以上、通算GPAが1.2以上を満たした者に「学士」の学位を授与する。

1. 知識・理解
  - (1) 社会の要請に 대응する人材として、経営に関する知識や技能を獲得し、社会の現実に即応できるよう、基礎から応用までを俯瞰的に理解している。
  - (2) 共生社会の実現に寄与できる人材となるため、さまざまな情報の中から必要と思われる知識を幅広く理解・体得している。
2. 汎用的技能
  - (1) コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・レポート作成能力を教学の3本柱とし、論理的かつ効率的に分析・表現できる力を身につけている。
  - (2) 企業や組織および社会が抱える課題に関して、正しい情報を採りだし、経営学の目線から分析し解決策を構築する能力を身につけている。
3. 態度・志向性
  - (1) 自らを律し、所属する組織において、目的実現を目指すための一員として協働することができる。
  - (2) 報告・連絡・相談を怠らず、効果的に連携し共生社会の実現に向け積極的に参画することができる。
4. 総合的な学習経験と創造的思考力
 

現実社会における生ききる力を獲得するために、1つの事象を多面的に捉える訓練としてのアクティブラーニング等に積極的に取り組み、問題解決能力を身につけている。

**【社会福祉学部 社会福祉学科】**

社会福祉学部社会福祉学科は、建学の精神と星槎の三つの約束に基づき、学部の教育課程が定める授業科目を履修し、以下の知識・能力・態度を身につけ、定められた授業科目を含む124単位以上、通算GPAが1.2以上を満たした者に「学士」の学位を授与する。

1. 知識・理解

- (1) ソーシャルワークの基礎知識や基本技術を獲得し、それらに関連づけて体系的に理解することができる。
- (2) 共生社会の創造のため、人間と文化、社会と歴史、自然と環境、外国語、健康などに関する幅広い教養を身につけている。

2. 汎用的技能

- (1) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、知識や情報を複眼的・論理的に分析し表現できる能力を身につけている。
- (2) 情報リテラシーに関する能力を身につけている。
- (3) 現代社会や地域が抱える課題に気づき、それらの解決へ果敢に立ち向かう能力を身につけている。

3. 態度・志向性

- (1) 自らを律し、他者と協調・協働して行動ができる。
- (2) 人の尊厳を重んじ、豊かな人間性を尊重できる態度を身につけている。
- (3) 生涯学びつづけるための意欲と学習する習慣を身につけている。

4. 総合的な学習経験と創造的思考力人と環境（社会）に関する視点、これまでに獲得した知識・能力・態度等を総合的に活用し、個人や社会にとって必要な課題解決のために創意工夫する能力を身につけている。

**【美術学部】**

美術学部デザイン学科及び建築学科は、建学の精神および星槎の三つの約束に基づき、それぞれの教育課程が定める科目を履修し、以下の知識・能力・態度を身につけ、定められた授業科目を含む124単位以上、通算GPAが1.2以上を満たした者に「学士」の学位を授与する。

**【美術学部 デザイン学科】**

1. 知識・理解

- (1) 美術、デザインの専門家に必要な基礎的素養を身につけている。
- (2) 共生社会の創造のため、人間と文化、社会と歴史、自然と環境、外国語などに関する幅広い教養を身につけている。

2. 汎用的技能

- (1) 自らが創作したものを他者に伝える表現技術と理論を身につけている。
- (2) 芸術文化の推進に率先垂範できる能力を身につけている。

3. 態度・志向性

- (1) 芸術文化をとおり社会における使命・役割を自覚している。
- (2) 生涯かけて美と真実を探究する意欲を身につけている。
- (3) 美的感性を發揮し地域や社会でよりよい人間関係を築くことを身につけている。

4. 総合的な学習経験と創造的思考力

学修や実習、展覧会活動、地域活動等において能動的、実践的学修で培われた知識、技能、態度等を総合的に活用し、コラボレーション力や問題解決のために創意工夫する能力を身につけている。

**【美術学部 建築学科】****1. 知識・理解**

- (1) 建築の専門性を支える教養を身につけている。
- (2) 共生社会の実現に寄与できる人材として、さまざまな情報の中から必要と思われる知識を幅広く取捨選択できる能力を身につけている。

**2. 汎用的技能**

- (1) 他者との円滑なコミュニケーションをはかり、良好な人間関係を築く能力を身につけている。
- (2) 新たな問題に直面した時に、それらを分析し、そして解決に導く広範な知識・情報に積極的かつ柔軟に対応していくことのできるジェネリックスキルを身につけている。

**3. 態度・志向性**

- (1) 社会における自分の使命・役割を自覚している。
- (2) 「建築デザイン」と「ものづくり」とおして世界や社会の変化に対応して、人々が共生できる社会を創造し続けるために、多くの視点をもって絶えず学び続ける意欲をもつことを身につけている。

**4. 総合的な学習経験と創造的思考力**

- (1) 「建築プロフェSSIONナル」としての技術者倫理に基づいた社会的使命を理解し、思考と行動力をもって社会に貢献することを身につけている。
- (2) 建築専門分野のみならず地域に関する様々な問題に関心を持ち、自らの役割と責任を自覚するとともに、さまざまな人と協働して問題解決に真摯に係わる態度を身につけている。

**【単位認定及び成績評価】**

単位は、試験や出席状況等の総合的評価で認定となる。それに伴い、下記の基準に従って成績評価される。

**【成績等の表示及び成績評価基準】**

区分	評価	成績評価基準	G P	評価内容
合格	S (秀)	100～90点	4.0	特に優れた成績を表します。
	A (優)	89～80点	3.0	優れた成績を表します。
	B (良)	79～70点	2.0	妥当と認められる成績を表します。
	C (可)	69～60点	1.0	合格と認められる最低限の成績を表します。
不合格	F (不可)	59点以下	0.0	合格と認められる最低限の成績に達していないことを表します。
G P 対象外	R (認)	単位認定科目	—	転入学や留学等により他大学で修得した科目を本学の単位として認定したことを表します。
	W	履修中止	—	所定の手続きを経て履修を中止したことを表します。

**【GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度】**

単位認定及び成績評価における成績基準のG P (成績ポイント) に基づき、次のとおりG P Aが算出される。G P Aは学期ごと及び在学の通算で算出され、卒業判定・C A P (キャップ) 制度・修学指導等に活用される。

### 【GPA（グレード・ポイント・アベレージ）算出方法】

$S$ の修得単位数 $\times 4.0 + A$ の修得単位数 $\times 3.0 + B$ の修得単位数 $\times 2.0 + C$ の修得単位数 $\times 1.0$

総履修登録単位数（「F」の単位数を含む。）

- ①「W（履修中止）」は計算式に含まない。また、教職課程科目など卒業要件単位に算入しない科目は、GPA算出の対象としない。（他学部・他学科の専門科目修得は算入される。）
- ②「総履修登録単位数」には、不合格科目を再履修し合格の評価を得た場合及び再履修の結果再び不合格（F評価）であった場合のそれぞれの再履修前のF評価を通算GPAに算入しない。ただし、学期ごとに算出するGPAにはそれぞれ算入する。
- ③GPAは小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの数値で、次のとおり成績通知書及び成績原簿・成績証明書に記載する。

- 成績通知書…学期ごとのGPA、通算のGPA
- 成績原簿・成績証明書…通算のGPA

### 【CAP（キャップ）制度】

CAP制度とは1学期（1セメスター）に履修登録できる単位の上限を設ける制度であり、大学設置基準に基づく学習時間を確保してもらうため、さらに多くの授業を履修しすぎてどの科目の学習も中途半端になることのないよう授業に集中してもらうことを目的に導入している。

#### ①CAPの標準単位数

1学期に履修登録できる標準単位数を22単位に設定する。ただし、大学内または学外施設内の授業が主となる実技・実験・実習及び卒業要件以外の自由科目（教職科目等）の単位については、履修制限単位に含まないものとする。

#### ②標準単位数の変更

学部長により資格取得等の関係で標準単位数を越えての履修がやむを得ないと判断された学生は、26単位を超えない範囲内で履修登録を行うことができる。

#### ③変動型CAP制度（履修制限）

きめ細かい履修指導・学習支援を実施するため、前学期のGPAに基づき1年生後期以降の1学期に履修登録できる単位数を下表のとおり4段階に設定する。

前学期のGPA	履修可能単位数
3.5以上	28
3.0以上3.5未満	26
1.5以上3.0未満	22（標準）
1.5未満（履修指導対象者）	18

※1.5未満の履修指導対象者には、前号の標準単位数変更を適用しない。



学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営	経営	124単位	有	22(標準)単位 ※前学期のGPAにより、 標準単位数の変更や変動型 CAP制も導入している
社会福祉	社会福祉	124単位	有	22(標準)単位 ※前学期のGPAにより、 標準単位数の変更や変動型 CAP制も導入している
美術	デザイン	124単位	有	22(標準)単位 ※前学期のGPAにより、 標準単位数の変更や変動型 CAP制も導入している
	建築	124単位	有	22(標準)単位 ※前学期のGPAにより、 標準単位数の変更や変動型 CAP制も導入している
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法: ホームページ掲載 ( <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/05/seiseki_gpa.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2017/05/seiseki_gpa.pdf</a> )		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法: 本学ホームページ掲載 ( <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/05/44e6f438042d755328f2dc7266e05cbf.pdf">https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/05/44e6f438042d755328f2dc7266e05cbf.pdf</a> )		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: ホームページ掲載/ <a href="https://www.seisadohto.ac.jp/campus_life/facilities/">https://www.seisadohto.ac.jp/campus_life/facilities/</a>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
経営学部	経営学科 (1年)	770,000円	200,000円	200,000円	施設設備費
	経営学科 (2-4年)	770,000円	—円	300,000円	施設設備費, 教育充実費
社会福祉 学部	社会福祉学 科(1年)	770,000円	200,000円	200,000円	施設設備費
	社会福祉学 科(2-4年)	770,000円	—円	300,000円	施設設備費, 教育充実費
美術学部	デザイン学科 (1年)	970,000円	200,000円	350,000円	施設設備費, 実験実習費
	デザイン学科 (2-4年)	970,000円	—円	450,000円	施設設備費, 実験実習費 教育充実費
	建築学科 (1年)	970,000円	200,000円	350,000円	施設設備費, 実験実習費
	建築学科 (2-4年)	970,000円	—円	450,000円	施設設備費, 実験実習費 教育充実費

## ⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

### a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

本学では、ゼミナール担任制を設け、少人数体制で個別に修学上の助言・支援を行っている。

さらに担任でない教員についても、オフィスアワーの表示板を設けて授業科目についての質問・相談を受けられるよう各研究室内で逐次学生の対応を行っている。

また、身体等に障害のある学生がその能力に応じて十分な教育を受け、豊かな学生生活を実現できるように修学サポートを行っている。

まず、ホームページ等で当該学修支援体制を広く周知しており、修学サポート申請書で申請学生のニーズを学務課で収集し、修学サポートの事前準備を行っている。

申請書を学務課で受理した後に、具体的な修学サポート内容をコーディネートをするために学生相談室に配置したスクールカウンセラー（臨床心理士）との面談を経て、学生個々の修学支援体制を構築している。

なお、学生のニーズに合わせて所属する学部、学科、履修科目担当教員にも情報が共有されていることから、全学的な学習支援体制を整備している。

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information/counseling/>

### b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

本学では学生の進路に係る支援を、キャリア支援委員会を設置し、キャリア支援センターと教員の緊密な連携のもと以下のとおり取り組んでいる。

- ①様々な業種・業態理解、職業意識の涵養、2年次以降のインターンシップ参加に繋げることを目的とした、正課授業「キャリア支援演習Ⅱ」を全学部1年生に受講させていることが挙げられる。講義は北海道中小企業家同友会と連携し、会員である中小企業の経営者を招聘し、講話を依頼している。
- ②新卒応援ハローワークのジョブサポーターの出張相談を開催しており、大学の求人にとどまらず、職業選択の幅を広げることに役立っている。
- ③本学では北海道内の11の大学で構成されている北海道地域インターンシップ推進協議会に加盟しており、加盟大学が連携し地域の産業界との交流を深め、インターンシップの普及・拡充を図っている。なお、インターンシップ参加学生数の目標設定を行い、前記したインターンシップに加え、北広島市役所、北広島商工会、由仁町役場並びに本学取引先に協力を要請して、受入企業等の自己開拓に努めている。
- ④留学生に対して卒業後の就職・進路希望調査を実施し、新卒応援ハローワークの留学生担当者を招いての留学生就職ガイダンスを開催している。
- ⑤本学では2年生全員に「V P I 職業興味検査」を実施し、自分の職業への興味を自覚し、職業情報を得ることの大切さを学ばせている。また、3年生全員に計5回の就職ガイダンスを実施している。その他、「リクルートスーツの選び方・着こなし方講座」、「働く人たちを守る法律についての講座」などテーマごとのガイダンスを開催するとともに、企業による単独学内説明会や福祉施設（10事業所）を招いての合同の説明会を実施している。経営学部単独では、公務員を目指す学生が多いことから、公務員予備校（東京アカデミー）から講師を招き、試験対策講座を実施している。さらに就職内定者に対しては、就職後の職場定着支援の一環として「内定者対象マナー講座（社会人になる前に知っておきたいマナー）」を開催するなど、各種就職ガイダンスを実施している。
- ⑥個人面談（キャリアカウンセリング） 本学では、就職・進学に対する相談助言体制は小規模校のメリットを活かし、個人面談中心の支援を実施している。特に3年生全員に個人面談を実施しており、面談内容をキャリアカルテとして求職登録票とともに集約し、キャリアカウンセリングを行う際の基礎データとしている。

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/employment/support/>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

本学では、学生サービス・厚生補導のための主たる組織として、学務部学務課がその対応にあたっており、「生活相談」、「保健相談」、「栄養相談」など学生生活に関する様々な相談に応じている。特に近年は、精神的な悩み事・心配事を持つ学生が多くなっていることから、スクールカウンセラー、学務課、学部・学科の教員、臨床心理士を含む3名の学生生活カウンセラーが連携をはかり、学生の問題解決をはかる体制を整備している。

学生の心身の健康等に係る支援に対応する主施設は、利用学生が訪問上、個人の匿名性に配慮した設置をしている学生相談室と、怪我や体調不良者への応急措置が可能な保健室の2施設となる。

また、バリアフリー施設・設備としては、エレベーターが2号館と本部棟に整備されており、車いす用のスロープは1・2号館に、身障者用トイレは2号館、身障者用駐車場は本部棟前に設置している。

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information/infirmery/>

<https://www.seisadohto.ac.jp/uploads/2019/05/a482ad1761cce155ef8cff0490b7b285.pdf>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ及び広報誌（大学案内）